



かみグセをそのままにしておけば、いつか大ケガをする可能性も……。とくにお子さんのいるご家庭は危険なので、やめさせる方法を考えましょう。「これなら絶対にかまなくなる!」といえる方法は残念ながらありませんが、いろいろと試してみて、効果的な方法を見つけましょう。

やめさせるには?

先輩飼い主さんからのアドバイス

うちはこうして直りました!

生後2か月でうちに来たときは、かみグセがひどくてもう大変! それから1か月後、もう1匹子猫を迎えたのを機に、かみグセがピタッとなくなりました。自分がかまれることで痛いという学習し、手加減を覚えるという話を聞いたことがありますが、まさにそのとおりでした。



子猫の歯は細くて鋭いので、かまれるとかなり痛いものです。

効果アリ

かまれたら、「コラ!」と大声でひと言。びっくりしてかむのをやめたら、猫の興奮がおさまるまで距離をおいて、無視します。あまり騒ぐと気をひくためにかむようになるので注意。

効果があることも……

よくかまれる場所に猫の嫌いな柑橘系のものや、辛いものを塗っておき、「かんだら変な味がする」と覚えさせます。ただし、まったく気にしない子もいるようです。また、ふっと顔に息を吹きかけると、びっくりしてやめることも。

絶対やめて!

体罰はNG! 怖がって、さらに攻撃することもあります。信頼関係も崩れ、飼い主さんを怖がるようになることもあるため、やめましょう。

たたく人はキライよ!



かまれたりひっかかれたりして人にうつる病気がある

- 猫にかまれたりひっかかれたりして、うつる病気があります。かまれたら、すぐに傷口をアルコール消毒しましょう。日ごろから猫の爪を短く切っておくことも大切なことです。

猫ひっかき病

- 1割程度の猫が感染しているといわれるバルトネラ菌が原因。人間に感染するとリンパ節のはれたり、熱が出たりします。

パストツレラ症

- 猫の口や爪にいるパストツレラ菌が原因。人間が感染すると呼吸器疾患やリンパ節のはれが出ることも。抵抗力が落ちているときは注意。



遊びに夢中になると、かんだりひっかいたりしてしまうことも。

